

NMO OfficeLetter



当世ベトナム事情 ~ハノイ編~

その1

今年の5月の連休中に久しぶりに海外、ベトナムの首都ハノイに行ってきた。目的は現地の事情調査と10年ぶりの海外出張を経験しておくこと。なにせ、10年間有効のパスポートも失効し、海外ボケになっていたので、少し外国の風を頭に入れることが目的だった。

今回は、2ページにわたり「当世ベトナム事情ハノイ編」をお送りする。なお、この9月に南部ホーチミンに行く予定だ。

ベトナムという国

ひごろあまり馴染みがない国ベトナムだが、おおよそどのような国かを知っておく必要はある。

- ・国土総面積：約33万Km²（日本の九州を除いた面積と同じ）
- ・人口：9,170万人（2015年12月の推計値）
- ・人口比率：都市人口34%・農村人口66%
- ・1人あたりGDP：2,171USドル（2015年9月）。日本の17分の1
- ・民族：約90%が京（キン）族、残りは53の少数民族
- ・宗教：大乘仏教が約8割・残りはカトリックなど
- ・政治：共産党一党独裁による社会主義
- ・経済：社会主義志向の市場経済
- ・日本との関係：広範な戦略的パートナーシップ国。親日で日越経済連携協定が締結されている
- ・在留邦人：14,695人（2015年10月現在）。南部ホーチミン周辺に約半数



ベトナム全土

首都は北部のハノイ市。経済の中心は南部のホーチミン市。両都市の距離は直線で1,100キロあり鉄道が発達していないので、移動は飛行機になる。

ベトナム国の歴史

古くは紀元前から約1000年にわたりベトナムは中国王朝の支配下にあった。939年にゴ・クエンが王を名乗り中国の支配を脱して独立した。以降、中国とベトナムとの確執はずっと継続する。1800年代の中ごろにフランスが帝国主義の時流に乗って進出し、闘争のあぐくフランス領として植民地化される。その後、1945年の太平洋戦争終結と共に独立。その後北部と南部に分断された国家となる。北部は中国の影響を受け共産主義国家となり、首都を現在のハノイ市に設ける。南は自由主義国家体制になり、首都はサイゴン（現在のホーチミン）になった。ご存知のように、北の共産主義国家が南進し、南の自由主義国家が共産化することを恐れたアメリカは、「ベトナム戦争」に介入した。しかし、10年のベトナム戦争は北の国家の勝利となり、1973年に停戦協定が結ばれた。その後アメリカ軍はベトナムから完

全に撤退する。それ以降は、社会主義国家として1969年に死去した元首のホーチミンの遺志を継いで国の復興が図られ、現在に至る。

ベトナム経済概観

簡単に言うと、50年前の日本によく似ている状況だと思えばわかりやすい。現在2017年だから、50年前は1967年、つまり昭和42年くらいの日本だろうか。オリンピックが終わって大阪の万博が始まろうとしていた当時の日本より、まだ相当遅れているかもしれない。ようやく、中産階級といわれる共稼ぎで年収500万円くらいの中間層が増加してきた。ベトナムの国民性として、消費はまず「住まい」に向かう。いい「住まい」を確保することが、いい「仕事」ひいてはいい「人生」につながるという思想が染みついている。

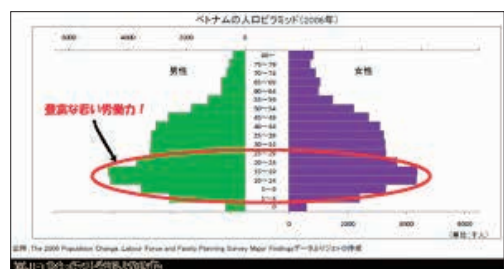
よってまず一番の消費は住居に向かう。郊外の戸建て住宅なら2世帯が住むという間取りになる。市内のマンションは30代から40代の共働き家族が住んでいる。住居に関しては、家具、インテリアなどの市場が活況を呈する。



ベトナムの経済成長率

南北格差が大きい

北部の中心はハノイ。旧北ベトナムの首都だった。最近ではハノイ周辺に工業団地が相当数できて、機械組み立て、加工工場などが進出してきている。距離的に近い中国が一番進出企業数が多いことと、陸地でつながっているメリットを活かして日用雑貨などの物資の往来が頻繁だ。最近では韓国サムスンが1万人以上の規模のスマートフォンの工場を建設した。南部の中心地はホーチミン。旧南ベトナムの首都で過去はサイゴンという都市だったが、ベトナム戦争終結後ホーチミンに改称された。経済商業の中心地で、ハノイより人口が多い。消費の中心でもあり、港にも近く交易が盛んであり、隣国の東南アジア各国と接しているの、物流が盛んである。



ベトナムの人口構成

ベトナムの今後の期待値

GNPがまだ日本の17分の1であり、若年層が多くGDPの伸び率も6%近くあり、潜在的な成長力は大きな期待を抱かせる。しかし、ASEAN各国も同じだが、中程度の成長は期待できるものの、日本や韓国がそうだったように高度経済成長を遂げてG20の仲間入りまで行くかと言われると、それは果たしてどうだろうか。

過去の幾多の国が遭遇したように、現在の中国がそうかもしれないが、経済成長率がどこかで停滞し頭打ちになる可能性は否定できない。そのためには、教育や交通などへ社会的なインフラ投資が必要であり、各国がODA援助を活発に行っている。

もともと教育国で、識字率が90%以上であり、国民性は悪くないが、若年層の失業率もまだ高く、はたして今後どれくらいの経済成長を遂げるかは、期待もあるが少し不安もあるというのが現実か。

異常な交通事情

首都ハノイはまさに発展途上国の様相だ。整然とした地域もあれば、ごちゃごちゃな地域もある。ハノイはもともと水田だった土地なので、市内各所に大きな池が残っている。そのため道路が曲がりくねっていて、交通渋滞が激しい。地下鉄がまだ全く整備されておらず、公共交通はバスに頼っているが、バイクがそれこそ雲霞のごとく縦横無尽に走り回り、ルールもあつたものではない。信号を守るといふ国民性がないので、横断歩道を渡るのも命がけだ。交差点もスクランブルのような方式で、車とバイク、歩行者が入り乱れて出たり入ったりしている。しかし、意外と事故は起こっていないようだ。3日間滞在したが、交通事故で救急車が走っているのを見かけなかった。今後、社会的なインフラを整備し、この交通事情を改善しないと近代化には遠いように感じた。



市内の異常なバイク群

英語があまり通じない

意外なことに英語がほとんど通じない。ガイドしてくれた20代後半の女性も、あまり流暢な英語はしゃべれなかった。現地言葉は当然ベトナム語だが、発音が非常に難しい。特に母音の発音が何通りもあって、日本人では聞き取りもしゃべるのも難しい。JETROのアド

バイザーの方は、東京外語大のベトナム語専攻だったそうだが、現在でもベトナム語を専攻する学生は少ないという。英語は中学校で履修するが、単語と文法しか習わないので、会話がほとんどできない。ベトナム戦争の後遺症か、アメリカ人の教員もほとんどいないらしい。ネイティブの英語を聞いたことがないので、会話が通じないことが、今後の教育面の課題かもしれない。ショップでもデパートでも、ほとんど英語は通じなかった。



プール付き高級高層マンション

高層ハイクラスマンションやタワー型ショッピングセンターが乱立

市内中心部にハイクラスのマンションがどんどん建設されている。ベトナム人も購入していると思えるが、外国籍の長期滞在者が購入するケースが多い。またロッテタワーに代表される超高層マンションとショッピングセンターが一体になった高層ビルが多く建設された。消費動向が上向いてきて、このクラスの買い物ができる消費者が確実に増加している。



建設ラッシュの市内

バイクから自動車に

バイクはほとんどの家庭に数台あり、完全に国民の足になっている。車はまだ高値の花だが、昨年ハノイでモーターショーを行ったところ、入場者が殺到したという環境にあり、もうそこまで手が届く耐久消費財になりつつある。

物流網も次第に整備され、ハノイの街中には大規模なスーパーマーケットが多く見られるようになった。しかし、週末に一家で買い物に出かけて、まだ車が普及していないので、バイクに家族が3人4人と乗り合わせて走る姿は、到底信じられない光景に映る。

ヘルメットの着用も徹底していない。今後、自動車が普及するには、法的な整備を始め、標識や信号など交通インフラの整備が欠かせない。そして、何よりも交通法規を守るといふ国民性を植え付けることが大事だろう。鉄道が発達で、まだまだ地下鉄を始め、公共交通網が整備されていない現状を改善していくのは時間がかかりそうだ。



最近できたハノイAEON

消費爆発の予感

市内のいたるところに、大型のショッピングセンターがある。少し郊外の場所に、AEONがオープンした。途端に、市内からAEONに行く道の周辺の地価が上がり、マンションが多く建設中だった。ことほど左様に、消費拠点が都市部の周辺に拡大している。農村から子供が都市部の大学に出てくるのは相当難しそうだが、高校卒業から即ブルーカラーというライフスタイルは、今後変わりそうだ。休日のAEONやBIG-Cなどの大型ショッピングセンターは、どこも人で溢れている。1階が食品、2階が日用品や電化製品、家具、3階がレストランという定番のパターンがある。子供連れのニューファミリー層が今後の消費の中心になりそうだ。まず、住まい。そして家電製品を中心に耐久消費財。そして、次に車、というのがこの年代の消費傾向のようだ。併せて、このライフスタイルに対するサービス業が増えそう。



市内LOTTETOWER地下の食品売り場

株式会社 京都マテリアルズ 様

注目
企業
のご紹介

【社 名】 株式会社京都マテリアルズ
 【代 表 者】 山下 正人
 【本社所在地】 〒615-8245 京都市西京区御陵大原 1-39 京大桂ベンチャープラザ南館2102
 TEL : 075-874-1391 / FAX : 075-874-1541
 【綾部ハイテック工場】 〒623-0006 京都府綾部市有岡町田坂28
 TEL : 0773-43-2421 / FAX : 0773-43-2422
 【資 本 金】 900万円
 【設 立】 2012年
 【U R L】 <http://www.kyoto-materials.jp/index.html>

株式会社京都マテリアルズは、材料科学分野の基礎的研究から得られた知識をより広範囲な分野へ応用し、大学などの研究室で見出されてきた知見とそこで培われた技術資源を融合して、進んで市場に出すことを通じて、次世代の技術開発に資すること、ひいては健全なグローバル社会の発展に貢献することを理念として設立された。

大きくは2つの分野があり、そのひとつが環境マテリアル事業部。鋼材等の腐食を防ぐための技術開発と実用化を進めている。一般の防食では塗料により大気環境と遮断する方法が使われるが、塗膜

の維持管理が問題となる。ここでは環境を遮断するのではなく、環境の力を借りながら鋼材表面に防食性を付与し、腐食を抑制する手法や材料を研究開発している。

もうひとつが精密マテリアル事業部。金属・合金材料一般から合金工具鋼、超硬合金などの硬質材料を1ミクロン・オーダーの精度で加工する。また、セラミックスなどの硬質材の精密金型システムを各分野の製造業界などに提供。ここでは独自の最先端表面改質技術（Advanced Surface Modification）も部材の耐摩耗性や疲労破壊への耐性の向上に生かされている。



ものづくり日本大賞授賞式（左が山下社長）



綾部ハイテック工場



環境マテリアル研究所での大気暴露試験の様子



表面処理剤 PatInaLock の耐食性テスト



綾部ハイテック工場の作業風景



※写真はホームページより転載



ベンチャーキャピタリストから

起業者へのアドバイス

木村美都

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
 (JASDAQ 上場 コード 8462)

その15 資金調達その2

「投資」と「融資」。似たような言葉と思いがちですが、意味は180度違うといってもよいところがありますのでしっかり認識しなければなりません。

そもそも投資は、第一義的には投資した者の責任です。事業が成功すれば、パートナーとして企業価値の増大をシェアすることになります。失敗すれば終わりです。一方融資は借り手の責任です。借りたものは必ず返さないといけないのは人の倫理です。つまり返す自信のある時しか借りてはいけないということです。返済できなくなった時、政策公庫など公的資金や保証協会が借入の減免が一番厳しいことはご存じでしょうか。

ビジネスモデルがしっかりしていて、商品や買い手がはっきり

しているなら融資に頼ることになりますが、それらの要素が未確定な間や研究開発などのリスクが高い時は、自己資金や外部資金による投資で賄わないといけません。但し、外部からの投資を受け入れるということは自分の持ち分が減り、他人の意見も聞かないといけないということです。十分時間をかけて、こちらの考えを理解し、企業の成長のために貢献してくれる投資家、企業を選ぶことが肝要です。

また、投資は原則的には後戻りができません。将来の株主構成比率や資金調達の可能性を十分考慮し、資本政策を立てることが必要です。普通株式、種類株式、転換社債やワラント債など投資手法も様々ですし、個別の投資契約による制限もあります。専門的になりますから、信頼できる人にセカンドオピニオンを聞きながら進めることをお勧めします。

7月度・8月度 勉強会のご案内

● いずれも参加費1,000円

NMO 勉強会 京都例会

<http://www.nmo.ne.jp/business/it-kyt.html>

第187回

日 時：07月13日（木）19：00～21：00…第2木曜日です

会 場：COCON烏丸4階シティラボ内セミナールーム
<http://www.citylabo-ino.com/>
（市営地下鉄烏丸線「四条駅」下車 / 阪急京都線「烏丸駅」
下車すぐ「地下鉄02番出口」より1階正面玄関へ）

講 師：成岡 秀夫（NMO勉強会主宰代表）

テーマ：当世ベトナム事情
～今後有望な東南アジアの市場を見る～

NMO 勉強会 大阪例会

<http://www.nmo.ne.jp/business/it-osk.html>

第148回

日 時：07月18日（火）19：00～21：00…第3火曜日です

会 場：大阪産業創造館6F-D会議室（地下鉄堺筋本町駅徒歩3分）

講 師：成岡 秀夫（NMO勉強会主宰代表）

テーマ：当世ベトナム事情
～今後有望な東南アジアの市場を見る～

※大阪例会は第148回をもって終了します。

第22期（2017年度後期）成岡秀夫経営塾

マネジメント基本講座シリーズ

時間 13：30～17：00

場所 京都市下京区烏丸四条COCON烏丸ビル4階シティラボ内
セミナールームにて

形式 成岡からの講義形式 / 毎回自由参加

費用 毎回5,000円（テキスト代金・諸費用込み）
※6回すべて受講される方は25,000円
（ただし前納ください）

定員 10名で先着順 / 申込後のキャンセルはできません

申込 ホームページ、Eメール、FAX、電話にてお申込みください

スケジュールと内容

講座番号	開講日	曜日	課 題
22-1	2017/10/15	日曜日	決算書・試算表を理解する ～貸借対照表～
22-2	2017/11/12	日曜日	決算書・試算表を理解する ～損益計算書～
22-3	2017/12/10	日曜日	決算書・試算表を分析する ～キャッシュフロー計算書～
22-4	2018/01/14	日曜日	設備投資と資金繰りの基本 ～投資判断基準と現実の資金繰り～
22-5	2018/02/18	日曜日	管理会計と財務会計の違いと活用 ～収益管理の方法～
22-6	2018/03/11	日曜日	経営計画を作成する ～中期計画を作成する際のポイント～

編集後記

10年以上継続してきた大阪でのNMO勉強会を、この7月でいったん終了することにした。その代り、毎月同じ第3火曜日に京都会場での新しいコンセプトの別の勉強会を立ち上げることにした。まだ企画の中味は検討中だが、何かしらみなさんのお役に立つことになる企画内容にしようと思っている。乞うご期待！（な）

今月の
推薦図書

書 名：しくじる会社の法則
著 者：高嶋 健夫
発 行：日本経済新聞出版社
発行日：2017年05月11日
定 価：850円＋税
ページ数：222ページ
版 型：新書版



しくじる会社の法則

著者が永年の経済新聞、経済誌を記者として担当した経験に基づいて記した財務データ以外に現れる数字以外の「会社のよし悪し」を判断する材料が満載だ。「しくじる会社」には何か共通点があるはずだ。そのような仮説から出発して、企業を取材してきた中から「この会社、どうも危ういな」「この社長さん、いつか蹴つまづくんじゃないか」など、率直に感じた症状や兆候が、非常にストレートにわかりやすく書いてある。ああ、なるほど、そうなんだ、と至極納得のいく内容がいっぱいだ。「計測不能な定性的な部分での会社分析のヒント」ではあるが、思い当たるところは多い。

目次

- 第1章：やっぱり社長は「会社を映す鏡」
- 第2章：優れた社長は「愛」に溢れている
- 第3章：「だらう経営」は怖い、危ない
- 第4章：「本社の新築は危ない！」が鉄板法則なわけ
- 第5章：社員の態度とご近所の評判
- 第6章：こんな取引先とはサヨナラしよう！
- 第7章：ネット情報のツッコミどころ

成岡マネジメントオフィス事務所通信

BUSINESS MANAGEMENT & COORDINATION



株式会社 成岡マネジメントオフィス

発行人：成岡秀夫

〒603-8377 京都市北区衣笠西御所ノ内町26番地

TEL：075-366-6611 FAX：075-366-6100

E-mail：info@nmo.ne.jp

送付先の変更は、上記へEメールまたはFAXでお知らせください。

NMOホームページ

<http://www.nmo.ne.jp>勉強会の様子や講演活動の記録など掲載しています。
メールマガジンのお申し込みもこちらからどうぞ。

成岡マネジメント

検索